

ほほえみ

あいさつ

会長 結城 俊一（東大島小学校 校長）

令和6年度は130名の方が会員となりました。本研究会では「一人一人のよさや可能性を伸ばす学級経営をめざして」という研究テーマのもと、児童理解を深めるために様々な実践を行っています。ハイブリッド形式で参集とオンラインによる会員交流を増やし、日々の取り組みが学級集団づくりにどのように活かしているのかを検証する場となるよう、常任委員が協力して準備を進めております。ぜひ研修にご参加いただき、皆さんと日々の実践を共有していきたいと思っています。

5月8日（水）川崎市小学校教育研究会 学級経営研究会総会・研修会・講演会

場所：川崎市立下平間小学校

研修会：しゃべり場

講演会：「多様性を認め合う学級集団づくりと協働活動の方法」

講師：川崎市カリキュラムセンター専門員

カウンセリングサイコロジスト（ph.D）岡田 弘先生

【しゃべり場の様子】

一度しゃべり出したら止まらない…。学級の話、子どもの話になると、参加者の皆さんの姿勢がだんだん前のめりになってきます。スタートして1ヶ月。たくさんの思いを語る事ができました。

【講演会の様子】

岡田先生には学級経営研究会の研究テーマに寄り添っていただきつつ、「多様性」「心理的安全」「学級集団づくり」をキーワードに、新しい学校の在り方をもとめられ、多様性を認めていく社会の中で、児童だけでなくわれわれ教員もこれからの社会をどのように進んでいくことができるのか、そのヒントとなることをお話していただきました。「川崎の先生たちは素晴らしい」「川崎の子どもたちはたくましく元気だ」と日々奮闘している私たちを励まし、そして優しく語りかけてくださる岡田先生にたくさん勇気をいただきました。



「川崎の先生たちは素晴らしい」「川崎の子どもたちはたくましく元気だ」と日々奮闘している私たちを励まし、そして優しく語りかけてくださる岡田先生にたくさん勇気をいただきました。

【参加者の声】

- 「教育＝プロセス」という言葉が心に響きました。日々、学び、日々こつこつと積み上げていくことの大切さを感じました。「問題のない人はいない」自分も子どもたちも周りの人も「問題があって当然だから、結果ではなくプロセスを大切にしていこう」と思いました。
- 「自己効力感」を育てることが心に残りました。子どもが自分でできそうと思えることはとても大切だと思いました。日々、関わる子どもたちの心のパワー、やる気をアップさせることも意識していきたいです。
- 自分の言葉だけでなく「嬉しい表情、声かけなどが、子どもたちの心にずっと残り続ける」という言葉が印象に残りました。「教育365日」教員ではなくなるその時まで成長し続けて行きたいと思います。

【お知らせ】

- ・総会資料・事業報告等は、学級経営研究会のホームページ、クラスルームに掲載しております。
- ・研修会、授業研究会、しゃべり場等のおしらせはクラスルームに随時アップします。文責 下沼部小 黒瀧